

2011年3月28日

各位

エクソンモービル有限会社  
問合せ先：広報渉外部  
TEL 03-6713-4378  
甲斐 080-1026-3736  
田所 090-6930-9103

## エクソンモービルの被災地域への燃料供給は平常時の1.4倍へ増加

~東北地方の6割以上の給油所が営業再開~

- 震災後 24,000KL 以上の燃料油を東北地方に配送
- 石油製品 5,000KL 積載可能な大型タンカーを塩釜油槽所への輸送に投入予定
- 給油所の状況について厳格なチェックを行い、環境面で安全な操業を確保

エクソンモービル・ジャパングループは、最も深刻な被災地域に対して、迅速かつ安全に必要なとされる燃料を供給する努力を行っております。東北地方の当社グループ給油所ネットワークへの燃料油供給量は、震災前の140パーセントを上回るレベルに増加しています。

3月11日の地震と津波以来、エクソンモービルは、ガソリン、軽油、灯油などの石油製品 24,000KL 以上を東北地方に輸送しました。これは、タンクローリー約 1,200 台分に相当します。

エクソンモービル・ジャパングループ代表のフィリップ・デューコムは、次のように述べています。「東北関東大震災で被災された多くの人々に必要とされている燃料をお届けするため、当社グループの社員 2,900 人は、安定的な供給システムの構築、給油所の復旧を最優先に、一丸となって努力しています。」

「当社グループのエッソ、モービル、ゼネラルのサービスステーションについては、その6割以上が営業を再開し、残りのサービスステーションについても、粛々と再開に向けた準備を進めています。これは、当社のお取引先、燃料油販売の各地域担当者、そして代理店・特約店の皆さま方の絶大なるご努力の賜物です。しかし、東北地方の方々に燃料をお届けする上で、やるべき多くの仕事がまだ残っております。」

東北地方においては、約 360 のエッソ、モービル、ゼネラルのサービスステーションが代理店・特約店の皆様によって運営されています。

安全が最優先であることに変わりはありません。エクソンモービルは、代理店・特約店に対し、再開前に給油所の状況を厳格にチェックするよう、安全に再開する手順をお示ししています。

当グループの日本の全製油所は、通常よりも高いレベルでの操業を行っており、被災地域への製品供給を増強しております。これに加え、仙台近郊のエクソンモービル塩釜油槽所は、東北地方への燃料油供給を増加させています。

また、デューコムは、次のようにも述べています。「エクソンモービルは、石油連盟の会員であり、救済、復興を支援するため、燃料油をお届けするという課題に対し、政府と緊密な連携をとっております。塩釜港がより大型のタンカーを受け入れ可能となったため、塩釜へ向け 5,000KL 積載可能なタンカーを、今週初めから投入する予定です。」

以上

#### エクソンモービル・ジャパングループについて

エクソンモービル・ジャパングループは、エクソンモービル有限会社を中心に、東燃ゼネラル石油株式会社、東燃化学を含む複数の子会社・関連会社で構成されています。エクソンモービル・ジャパングループは、日本を代表する石油製品、潤滑油、石油化学品の製造・販売業者であり、その創業は1893年にさかのぼります。エクソンモービル有限会社は、米エクソンモービルコーポレーションが100%の株式を間接的に保有する子会社です。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しており、エクソンモービル有限会社が50.02%の株式を保有する子会社です。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。  
[www.exxonmobil.jp/](http://www.exxonmobil.jp/) [www.tonengeneral.co.jp](http://www.tonengeneral.co.jp)